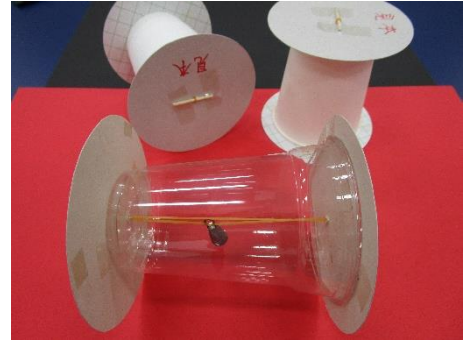


## 紙バック (Back!) (かみバック) とは?



### 熊本博物館「子ども科学・ものづくり教室」の担当者より

紙バック (物を入れる紙の入れ物・手さげ) ではありませんよ!

紙コップで作る科学工作 (かがくこうさく) のひとつで、昔から似た (にた) ようなものが作られています。コップの両端 (りょうはし) に厚紙 (あつがみ) で作った車輪 (しゃりん) をつけたもので、コップをやさしく手に持って2~3mほど前方 (ぜんぽう) に転 (ころ) がすと…。あら不思議 (ふしぎ)! バックして手元 (てもと) に戻 (もど) ってきます。

紙コップが Come back して (カム・バック : 戻って) くるものなので  
名前を短 (みじか) めて「紙バック (Back!)」と名付け (なづけ) ました。

中の仕組み (しくみ) は簡単 (かんたん) です。コップの中の輪ゴムの真ん中 (まんなか) あたりに、おもりがつるしてあります。車輪が回転 (かいてん) しながらか前に進むと、重い「おもり」は動かず、輪ゴムだけがねじれていきます。ぐるぐる…とねじれたゴムは元に戻ろうとします。ねじれが戻るとき、車輪が逆 (ぎゃく) 回転して手元に帰ってくるのですね。

**問題** : ゴムの性質 (せいしつ) について調べてみましょう!